

マイクリーン BC-90 A 剤/B 剤



塗料凝集剤、浮上型

2 液タイプ (A 剤は劇物に該当)

マイクリーン BC-90 は、塗装ブース循環水中に加えることによって、ブースで捕集された塗料スラッジを再付着しないように不粘着化します。清掃作業を容易にするブースのメンテナンス用クリーナー（キラ剤）です。機器装置類の保守点検を軽減すると共に付着塗料の洗い流し効果も向上させます。

性 状

	マイクリーン BC-90 A 剤	マイクリーン BC-90 B 剤
外 観	無色透明液体	無色液体
臭 気	無臭	
p H	12.5 (1%水溶液) [代表値]	3.5 (1%水溶液) [代表値]
比 重	1.5 (20℃) [代表値]	1.3 (20℃) [代表値]
引 火 点	なし	
金属腐食性	アルミニウムは使用不可	

特 長 オーバーブースプレーペイントを非粘着化させます。非粘着化した塗料は、ジャマ板、ノコ歯下、裏、戻り配管内等ポンプ、ノズル等の目詰まりや壁面等への付着が少なくなります。ウォーターカーテン型、ノーポンプ型等のすべての湿式ブースに適用できます。

※A 剤のみでもフロックを作ることは可能です。B 剤はフロックの量を増やします。ノーポンプブースの場合、稼動しただけでは空気中に含まれる炭酸ガスの吸収量が少なく十分なフロック量が期待できません。B 剤を添加する事によりフロックの量が増えます。このフロックが非粘着粒子で構成され、ミストを包み込むため“パサパサ”効果となります。



三彩化工株式会社

<http://www.sansai.com>

ISO 9001・14001 認証取得

本社・工場

本社・工場 〒531-0076 大阪市北区大淀中 3-5-30
大阪(営) TEL 06-6451-7851(代) FAX 06-6451-1187
東京(営) TEL 047-455-3711(代) FAX 047-455-3722
名古屋(営) TEL 052-321-2051(代) FAX 052-322-3790
広島・福岡(駐) TEL 092-719-1756

マイクリーン BC-90 A 剤/B 剤

使用方法

1. 使用前に均一になるように攪拌します。
2. 初期投入
予め、ブース循環水に薬剤を投入することにより、水中の効果阻害因子を除去します。
 - ①ノーポンプブースの場合
基本初期投入量はブース水量の0.1%⇒水量4m³ならばA剤2kg+B剤2kgを投入します。
 - ②ウォーターカーテンブースの場合
基本初期投入量はブース水量の0.05%⇒水量4m³ならばA剤のみを2kg投入します。
3. 定期投入
一日の塗料とシンナーを合わせた量に応じて、一定量を1日1回補給します。補給量の目安は、塗料とシンナーを合わせた量に対して、5%程度(A剤B剤合算)になります。
4. 定期管理
pHによる濃度管理を行います。pH8より下がらない様にします。下がった場合は、循環水1tに対して500gのA剤を追加投入します。浮上及び沈んでいる塗膜カスは除去します。

※pH測定はpHメーターが便利です。アドバンテック東洋 pH試験紙 ロールタイプ UNIV を用いても簡単に測定ができます。

作業上の注意事項

1. A剤は強アルカリ性(医薬用外劇物該当、水酸化ナトリウム25%含有)の液体です。
2. 取り扱いには保護手袋、保護眼鏡、エプロンなどの保護具を着用する。
3. 皮膚に付着した場合は多量の水と石けん(鹼)で洗います。皮膚に刺激が生じた場合は医師の診察を受ける。
4. 目に入った場合は清浄な流水で15分以上注意深く洗います。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、まぶたの裏まで完全に洗う。目の刺激が続く場合は医師の診察を受ける。
5. 水洗時に回収された水洗水は産業廃棄物になります。有資格産業廃棄物処理業者にて処理します。
6. 直射日光や高温のところに置かない、風通しの良い冷暗所に保管します。

荷 姿 20kg 18Lアトロン缶

適用法令及び詳細な注意事項につきましては SDS をご参照ください